

社会人 学生募集

2016年度入学



東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

大学院 工学研究科 都市工学専攻



平成28年度 [2016年度] | 社会人選抜

社会基盤マネジメント

- 社会基盤産業に必要な**実践的マネジメント力**を育成。
- 講義は土日に**集中的かつ効率的**に実施。
- 渋谷駅前のサテライトクラスを中心に、**少人数対話型学習**。
- 授業料は、修士課程で**50%**、博士後期課程で**90%**を減免。

国づくり、地域づくりのための

人づくり。

これからの社会基盤整備を支える

マネジメント力。

社会基盤を整備することは、その国や地域の未来を左右する重要な役割を担っています。産業の発展はもちろんのこと、豊かな地球環境を確保するには、持続的**社会基盤整備**を実現しなければなりません。そのためには、安全で目的に合致した施設を生み出す技術力に加え、社会の課題を明確にし、明確なビジョンを打ち出し、最適なソリューションを選択する、総合的な**マネジメント力**が必要不可欠です。こうした総合的**マネジメント能力**はある程度の実務経験をもった中堅エンジニアに求められる資質です。本学は、このような社会的要求に応えるための修士・博士プログラムを設けました。日本の持続的な発展と国際化に対応できる実践的能力と、社会事象を総合的に捉え理解する能力を持つ、将来のリーダーとなる技術者の育成を目的としています。



特徴

- 社会基盤整備事業の企画、計画、執行、遂行、維持に求められるマネジメント技術を体系的に捉えたカリキュラム。
- 社会基盤整備事業に関する知識や意義などを、さまざまな角度から考察できる場を得られるプログラム。
- ビジネスの最前線で活躍するビジネスマンのために講義は土日限定で、アクセスに優れた渋谷駅前のサテライトクラスを使用。
- 実践的なマネジメント力を培うために少人数制をとり、講師との対話型講義の実施。
- 修士課程では、授業科目18単位(9科目相当)の修得を要します。博士後期課程では、授業科目4単位(2科目相当)の修得を要します※1。
- 入学時期は4月および9月となります※2。

※1 上記以外に研究指導に係わる科目などの修得が必要です。

※2 C日程は4月入学になります。

入学試験

試験種別(C日程)	● 社会人選抜 ※出願時に十分な実務経験(2年以上)を有している者について、出願書類に関する審査および口述試験を含む面接審査を統合して先行します。 修士課程 …………… (1) 書類審査 (2) 面接審査 博士後期課程 …… (1) 書類審査 (2) 面接審査
出願期間	平成28年1月12日(火)～1月15日(金)
試験日	2月24日(水)
試験場	世田谷キャンパス
合格発表	3月4日(金)10:00
手続き期限	3月10日(木)消印有効

募集人数

修士課程	24名
博士後期課程	6名

※募集人員は、推薦入試(A日程)および一般入試(B・C日程)を含んだ都市工学専攻の全体の募集人員となります。

学納金

入学金	270,000円
授業料(年間)	修士 1,190,000円 博士 1,190,000円

授業料については、修士課程では50%、博士後期課程では90%の減免が社会人選抜を経て入学する全入学生に適用されます。

社会基盤マネジメント

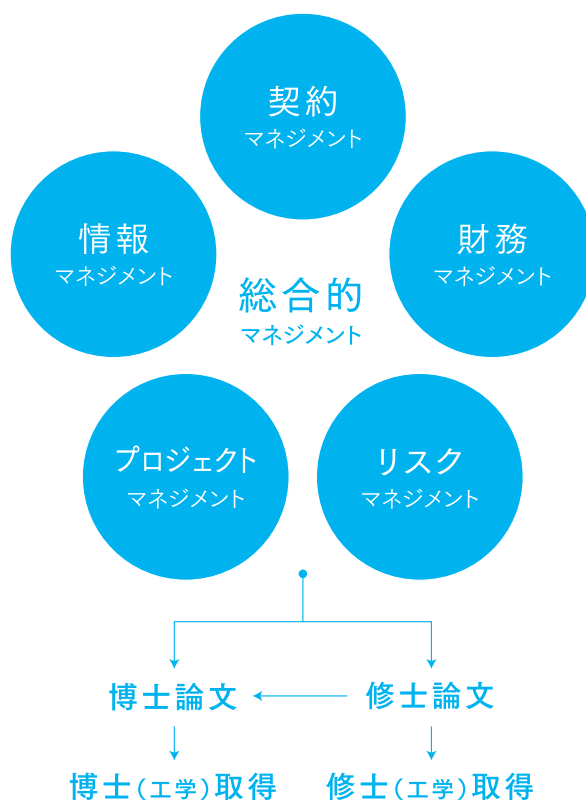
社会基盤 マネジメントの 実務的活用の ために

わが国の社会基盤整備関連産業は、戦後の復興、高度成長時代の礎を築き、目覚ましい技術発展を遂げました。しかし、国際化や価値観の多様化が進む現在、「産業発展のための社会基盤整備」だけでなく、国民が「豊かな生活環境を確保する持続的社會基盤整備」へと方針を転換することが求められています。

本プログラムでは、建設契約管理技術の中核にして、BIM/CIMといった最先端のICTやPPP/PFIなどの社会基盤マネジメントにおける活用や、それらに関わる課題解決のための数理手法などを総合的に学習することができます。

実務的観点の研究を遂行し、学位を有する技術者としてよりいっそう社会に貢献できる人材への成長を促します。

社会基盤 マネジメント プログラム



各科目の概要

The outline of each subject

前期科目

01

建設プロジェクトマネジメント特論

担当者：草柳俊二*

海外建設プロジェクトの遂行に必要なマネジメント技術並びに、国内の国際化に向けて必要となってくる実践的マネジメント技術を学ぶ。

02

国際建設マネジメント特論

担当者：草柳俊二*

国内プロジェクトの実態と比較しながら、国際建設プロジェクトの遂行に必要なマネジメント技術の論理を学ぶ。ODAの実態、国際建設市場の動向、WTO対応、市場開放問題、プロジェクト組織論、契約論等からなる。

03

建設プロジェクトマネジメントシステム特論

担当者：皆川勝、今井龍一、五艘隆志*

PMBOKを基盤にし、PMソフトウェア(MS Project)を活用したスケジュール管理、コスト管理、生産性管理の実践技術を学ぶ。(演習を含む)

04

社会基盤と経済分析特論

担当者：宮本和明

インフラの公共財としての役割と国民経済の視点からの経済分析を中心に学ぶ。まず、代表的インフラである道路事業を例にその整備がもたらす効果影響を整理する。そして、経済分析における費用と便益の考え方を示し、その計測手法、さらには、それらに基づく評価方法について示す。国内外の実例を用いてその実践力を養う。

05

マネジメント数理特論

担当者：吉田郁政

マネジメントを始めて、各分野で非常に多くのデータが蓄積されてきておりその有効活用は重要なテーマである。データ処理・解釈する上で数理統計手法は必須の道具であり、その背景にある理論を理解することは結果の解釈を行う上で大変重要である。本講では重回帰分析を中心にその基礎理論から応用までを学ぶ。

注意事項：数理統計の基礎を修得していることが必要である。

06

リスクマネジメント特論

担当者：丸山收

都市インフラの災害リスク照査と防災対策を講じるために、主に地震外乱を想定して以下の内容を学ぶ。 ●災害の持つ不確実性について分析するための確率論。 ●都市インフラのリスク照査に関する技法。 ●ファイナンス理論を援用した防災投資の基礎理論・講義内容に即した事例解析を通して、実問題に対処できる能力。

後期科目

07

社会基盤情報マネジメント特論

担当者：皆川勝、今井龍一

BIM(Building Information Modelling)の基礎とこれによる社会基盤施設のライフサイクルコストの観点から見た計画性向上を学ぶ。実践的な工程計画と連動したBIMシステムを実際に用いて演習を行う。

08

国際建設契約管理特論

担当者：草柳俊二*

国際協力銀行の依頼により日本工営(株)と国内大学が作成した教育システムを用いた講義。ODA調達ガイドライン、FIDIC国際建設契約約款の各条項、入札・評価システム、契約紛争等を学ぶ。

09

PPP/PFI特論

担当者：宮本和明

民間参加型公共事業方式である PFI(Private Finance Initiative)および PPP(Public Private Partnerships)に関する基本的な理解とその事業形成に携わる際に必要な基本的な素養を習得することを目的とする。講義内奥は PFI/PPPに関わる理論的背景、制度、技術的分析、財務分析、ファイナンス等の基本的考え方に加えて、いくつかの事業事例紹介を含む。

注意事項：「社会基盤と経済分析」を受講していることが望ましい。

10

ITプロジェクトマネジメント特論

情報システムの企画・設計・開発・運営に至るプロジェクトマネジメントの知識と技術を学ぶ。さらに、各自が社会基盤整備関連産業における情報システムのプロジェクトを立案して、プロジェクトマネジメント計画の発表と議論を行うことで実践的な力を身につける。

11

国際コンサルティングエンジニアリング特論

担当者：伊藤一正*、畑尾成道*

国際建設コンサルタントが国際プロジェクトをどのように具体化するか、また、その実施を含めたマネジメントに関する要点と方法を実プロジェクトを交えて学ぶ。特に国内と異なる契約方式、品質及び工程のマネジメントの理解は社会基盤マネジメントを実施する上で大変重要である。本講では実務を通じて、その基礎から応用までを学ぶ。

社会基盤マネジメント特別講義 (1)

担当者：皆川勝

社会基盤マネジメント特別講義 (2)

担当者：吉田郁政

*非常勤講師

講師

Lecturer

専任教員



東京都市大学 工学部 都市工学科 教授

丸山 収

確率論をベースに都市基盤施設の信頼性解析が専門のひとつ。地震リスクの定量的評価による維持管理のための意思決定に関する研究を推進。



東京都市大学 都市生活学部 都市生活学科 教授

宮本 和明

社会資本整備に関わる国内および国際学会で活躍する一方、国や地方公共団体のPFI/PPPをはじめとする各種委員会やプロジェクトにも参画。



東京都市大学 工学部 都市工学科 准教授

今井 龍一

大手建設コンサルタント、国土交通省を勤務の後、本学の准教授に就任。CALS/ECや情報化施工などの社会基盤情報に関する実務や調査研究活動に産官学の立場で経験。



東京都市大学 工学部 都市工学科 教授

皆川 勝

CALS/ECから国土交通省・産官学CIMを含むBIM/CIMまで、社会基盤情報に関する調査研究活動に参画。社会基盤情報とマネジメントにまたがる研究を推進中。



東京都市大学 工学部 都市工学科 教授

吉田 郁政

電力系の建設コンサルタントで20年余りの勤務の後、本大学の教授に就任。数理統計を使った論文が多数あり、データ分析も専門のひとつ。

非常勤講師

(五十音順)



株式会社建設技術研究所 国際部 技師長
東京都市大学 客員教授

伊藤 一正

国内外コンサルティング実務、先端的情報活用技術に関する学術活動に長年従事。中近東やアジアにおけるコンサルティングや人材育成業務を実践。



東京都市大学 客員教授

草柳 俊二

大手建設会社に勤務し多くの国で建設プロジェクトに携わった後、大学に転身。我が国のプロジェクトマネジメント研究の第一人者。社会人大学院教育を実践。



高知工科大学 システム工学群(社会システム工学教室) 准教授
東京都市大学 客員准教授

五艘 隆志

建設実務に携わった経験を活かし、海外と国内の建設マネジメント技術の類似性と相違点に注目した多くの研究成果を上げ、社会人大学院教育も実践。



日本工営株式会社 技術監査室 技師長

畑尾 成道

海外コンサルティング実務を長年にわたって担うとともに、技術者・経営者としての視点から、我が国の建設コンサルティング業界をけん引。

特別講義講師

(五十音順)



東京大学大学院 工学系研究科 教授

小澤 一雅

我が国の公共調達に係わる制度設計に携わる、建設マネジメント、公共調達および国際プロジェクトマネジメントの分野の第一人者。



株式会社日本開発政策研究所 主席コンサルタント
東京都市大学 客員教授

勝俣 陸男

ゼネコンを経て国際開発コンサルタントに転身。カンボジアで初となる経済特別区を敢行。JICA経済特別区専門家、世界銀行技術コンサルタントを歴任。



日本大学 生産工学部 土木工学科 教授
東京都市大学 客員教授

木下 誠也

国土交通行政の中核において建設マネジメント、防災・危機管理、河川・水資源に関し多くの実績を挙げ、大学に転身して行政者・研究者としてこの分野をけん引。



弁護士
東京都市大学 客員教授

辻岡 信也

土木系学科卒業後、大手ゼネコンに設計及び研究者として勤務。現在は土木建築関係紛争を扱う弁護士として、また歴史的建造物保存に参画する一級建築士として第一線で活躍。



CEO.Pegasus Global Holdings, Inc.
東京都市大学 客員教授

Patricia D. Galloway

多くの企業戦略コンサルティングや建設紛争審査に携わる、米国コンサルティング企業代表。元米国土木学会会長。



インドネシア バンドン工科大学 教授
東京都市大学 客員教授

Rizal Z. Tamin

東南アジアにおける建設マネジメント研究の第一人者。アジア国際建設マネジメントフォーラムのメンバーとして人材育成・技術移転プログラムを推進。

平成28年度 時間割 (予定)

Fiscal year 2016 Schedule

日程	基礎的科目
4月23日(土)	建設プロジェクトマネジメント特論(草柳)
4月24日(日)	建設プロジェクトマネジメント特論(草柳)
5月28日(土)	建設プロジェクトマネジメント特論(草柳)
5月29日(日)	国際建設マネジメント特論(草柳)
6月25日(土)	国際建設マネジメント特論(草柳)
6月26日(日)	国際建設マネジメント特論(草柳)
7月23日(土)	建設プロジェクトマネジメントシステム特論(皆川・今井・五艘)
7月24日(日)	建設プロジェクトマネジメントシステム特論(皆川・今井・五艘)
8月27日(土)	建設プロジェクトマネジメントシステム特論(皆川・今井・五艘)
8月28日(日)	社会基盤と経済分析特論(宮本)
9月24日(土)	社会基盤と経済分析特論(宮本)
9月25日(日)	社会基盤と経済分析特論(宮本)

日程	応用的科目
4月23日(土)	社会基盤情報マネジメント特論(皆川・今井)
4月24日(日)	社会基盤情報マネジメント特論(皆川・今井)
5月28日(土)	社会基盤情報マネジメント特論(皆川・今井)
5月29日(日)	リスクマネジメント特論(丸山)
6月25日(土)	リスクマネジメント特論(丸山)
6月26日(日)	リスクマネジメント特論(丸山)
7月23日(土)	マネジメント数理特論(吉田)
7月24日(日)	マネジメント数理特論(吉田)
8月27日(土)	マネジメント数理特論(吉田)
8月28日(日)	ITプロジェクトマネジメント特論
9月24日(土)	ITプロジェクトマネジメント特論
9月25日(日)	ITプロジェクトマネジメント特論

日程	応用的科目
10月29日(土)	国際建設契約管理特論(草柳)
10月30日(日)	国際建設契約管理特論(草柳)
11月26日(土)	国際建設契約管理特論(草柳)
11月27日(日)	PPP/PFI特論(宮本)
12月24日(土)	PPP/PFI特論(宮本)
12月25日(日)	PPP/PFI特論(宮本)
1月28日(土)	国際コンサルティングエンジニアリング特論(伊藤・畑尾)
1月29日(日)	国際コンサルティングエンジニアリング特論(伊藤・畑尾)
2月25日(土)	国際コンサルティングエンジニアリング特論(伊藤・畑尾)

※講義時間は、1時限～5時限(9:00～18:40)または1時限～4時限(9:00～16:50)の予定です。

東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

URL : <https://www.tcu.ac.jp>
大学院 工学研究科 都市工学専攻

渋谷サテライトクラス



住所：〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビルB1F

世田谷キャンパス



住所：〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1
TEL: 03-5707-0104 (代表)